

第22号
2023年2月7日
発行者 岡村 隆弘
神戸空襲を記録する会
題字 玉井洋子

お知らせ

今年も、**第52回神戸空襲犠牲者合同慰霊祭**を行います！！

3年たってもコロナ禍が続き、厳しい毎日ですが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。1995年1月17日の阪神淡路大震災に見舞われた私達を、次々続く自然災害を日本中の人々が、助け合ってきました。新型コロナウイルス感染症拡大も、医療現場の皆様の努力や働く皆様の努力で収束が来ること、また、人が人を傷つけあう戦争は人間の思いや想像力、相互の信義と公正に基づき停戦へと進むことを信じたいものです。

78年前の2月5日、3月17日、5月11日、6月5日、8月6日と何度もあった神戸空襲を忘れないように、亡くなられた方々の無残な死や無念へ思いを新たにするために、亡くなられた方々を思うひと時を過ごします。ただ、今年も感染拡大に配慮し、マスク着用や消毒の徹底などと、密集を避ける形で行いますので、ご協力をお願いいたします。

日時：2023年3月17日（金）午後1時30分～

空襲体験者のお話 戦災スケッチの展示など

場所：薬仙寺（兵庫区今出在家町4-1-14）TEL078-671-1696

当日 JR 兵庫駅から、市営地下鉄海岸線 和田岬駅から案内板あり

（連絡先 080-1419-8208）

第51回慰霊祭



第20回 神戸空襲戦跡ウォーク

日時：2023年6月4日（日）午前10時～12時頃

場所：JR 甲南山手駅南側広場



お問い合わせは 神戸空襲を記録する会電話 080-1419-8208 に

— 第 51 回神戸空襲犠牲者合同慰霊祭 3 月 17 日 —

3 月 17 日兵庫区薬仙寺で空襲犠牲者合同慰霊祭を、今年もコロナ禍に配慮し、関係者で行いました。

今回は、東灘深江で 5 月 11 日川西航空機への攻撃の中で、祖母と伯母を亡くされた藤本吉江さん。軍国少女になっていた自分は、悲しいというより「仇をとってやる」と思ったことを、その時の爆弾攻撃の怖さと合わせて話されました。8 月 6 日には焼夷弾攻撃を受け炎の中を逃げた怖さも話され、二度と戦争をしないために、学校でも体験を話してきたが、今回の戦争で無力感を覚えるとも言われました。



西下貴士さんは、5 年前に亡くなったお父様が祖母や伯父の戦災死、ご自分の空襲体験を一言も話さなかったこと、唯一記憶に残るのは、妹と 3 人で「火垂るの墓」をテレビで見ているところ、突然父がうめき声をあげ、2 階に上がって号泣していたこと、「変な親父やなあ」と思ったこと、父親が亡くなってから戸籍謄本で、祖母と伯父が 1945 年 6 月 5 日に灘区船寺通で亡くなったことを知ったと話されました。調べるとこの日 3 人で防空壕に入り、当時 4 歳だった父親が「花火みたい」と防空壕から飛び出した時に、焼夷弾が落ち、母親と兄の二人が亡くなったこと、父親はやけどを負いながらさまよい、2 日後に巡査に助けられて親せきに預けられたということです。戦争のトラウマを改めて感じさせられました。新たに戦災死者の名を知る手がかりも感じます。

会場から、井上義彦さんが、御崎八幡で警官だった父親の無残な焼死体を見つけた時のことを話してください、娘さんが「こんな具体的な話は初めて聞きました」と言われました。

女優のまつむら真弓さんは、母親から神戸空襲についてずっと聞かされてきて、何かできないか、と思っていた、と連絡をください、三木谷君子さんの体験を朗読していただき、三木谷さんが話しておられるような思いで聞かせていただきました。

体験を語ることの大切さと、語り伝えるための試みを考える慰霊祭になりました。

—6 月 5 日（日）第 5 回刻銘追加式—

今回は新たに 40 名の犠牲者のお名前を刻銘追加しました。届け出ていただいた 24 名の方々のうち 15 組が参加。父母から聞いていたのでやっとその願いがかなったという方もありました。親族が集まると必ず語られる伯父の 6 月 5 日の戦災死がどこにも記録されていないとわかり、従兄たちと話して届け出た、と遺族代表の方は話されました。母と長男は空襲後に探しに来て、何も見つけられず丸焼けの家の跡から焼夷弾の破片を見つけ、父の仇であり遺品だと持ち帰ったそうです。もう一人は、5 歳の時一家 5 人で道路下の防空壕に入っていたこと、5 月 11 日の空襲で、父が自分の上に覆いかぶさってくれたので、自分だけは生き残ったこと、諏訪山に住む伯父が探しに来て助けられたこと、



諏訪山の伯父の家も6月5日に空襲にあい山口県に疎開したことを話されました。

やっと2231名犠牲になられた方のお名前が分かりました。戸籍謄本からの発見や、親族の話の中から届けていただいた方、と様々ですが、お名前を探しだす可能性も感じました。

次の刻銘追加式は2024年6月を予定しています。もし、神戸空襲で亡くなられた方でお名前を届けていない、刻銘されていない、という方がありましたら、ぜひ神戸市行財政局か神戸空襲を記録する会にお届けいただきますようお願いいたします。



—6月26日（日）前代表中田政子さんをしのぶ会—

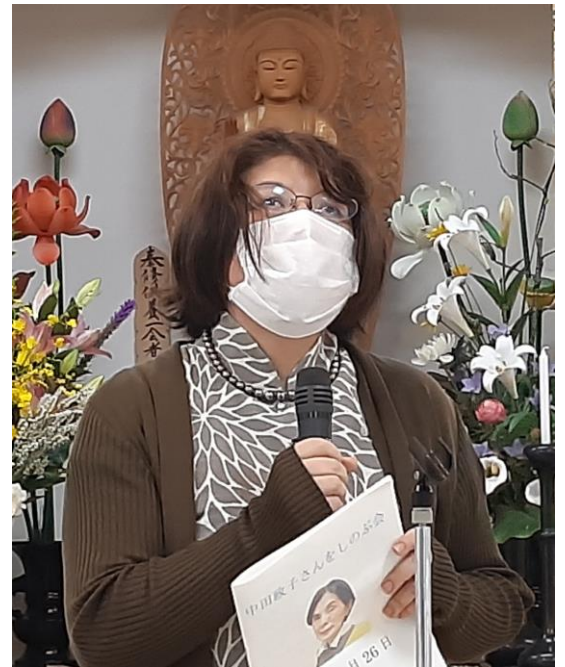
2021年6月26日に逝去されました神戸空襲を記録する会の前代表「中田政子さんをしのぶ会」を1周忌にあたり13時より薬仙寺にて行いました。

黙祷、開会の挨拶のあと、久元喜造神戸市長の「追悼の言葉」を神戸市行財政局業務改革課総務・文書改革担当課長杉森荘太氏より代読いただきました。続いて中田政子さんが出演されました、「未来伝える戦争 写真が導く大空襲の証言者」NHK 2005年8月と「神戸空襲 戦後64年の名簿」NHK 2009年3月放送を視聴しました。

中田政子さんの思い出について、ゆかりの皆さんからお話をいただきました。



神戸空襲を記録する会元世話人の玉井洋子さんから、「阪神淡路大震災から2か月後の3月17日に中田さんの熱意と奔走で薬仙寺での慰霊祭を実現したこと、大倉山のいのちと平和の碑を神戸市との粘り強い交渉の末に建立にこぎつけたこと。何より中田さんと母上である三木谷君子さんとの出会いが神戸空襲の原体験であり、追体験であった」と話されました。元神戸新聞記者宮澤之祐さんは、2003年に神戸新聞に掲載された「人」の記事を紹介されました。この中で、「…今年の慰霊



祭、イラクでの戦争が始まろうとしていた。何もできないジレンマを感じる」との嘆きに、会場から「そんなことはない」との意見が出ました。「記録し続けることは立派な抵抗運動です」と、『ヨシコが燃えた』の作者で詩人のたかとう匡子さんは、「この空襲を本当に自分の一生の仕事としてやってこられたんだと思います。…それくらいの強い信念がなかったら、こういう仕事は絶対できないと思います。本当に頭が下がる思いです。」と述べられました。世話人で神戸大学教授の長志珠絵さんは、「中田さんが行事でお話をされる言葉が強い、とにかく人を引き付ける言葉を選んでお話しされるのが素晴らしかった。そして次世代につなぐことを何より大切にされて来られた方」と話されました。世話人で高校同窓の富士繁一さんは、高校時代の中田さんの思い出、世話人の一人として慰霊碑建立に関わったことなどを話されました。その他、次女の馬場敦子さん、長田高校同窓の赤松正雄さん、歴史家の田辺真人さん、世話人の米倉澄子さん、神戸市教職員組合執行委員長柴田健太郎さんより、中田さんを偲び、沢山の思いをお話いただきました。（代表 岡村隆弘）



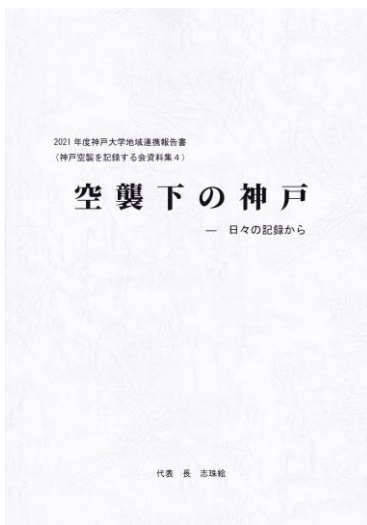
2023年6月「歴史と神戸」で中田政子さん
と神戸空襲を記録する会という特集号を発行して
いただきます。1部600円と送料の予定です。
ご希望の方はご連絡ください。

また、特集号発行に際して「神戸空襲を記録する
会のこれまでとこれから」ということで、シンポジ
ウムを開きたいと企画しております。お世話になっ
ている田辺真人園田学園名誉教授を中心にお話を進
めたいと考えております。7月30日(日)13時
から兵庫の津ミュージアム 研修室の予定です。



神戸空襲を記録する会の「戦災アーカイブコレクション」の構築に向けて

2022年4月に「神戸空襲を記録する会関係資料集」4を発行しました。今回は「空襲下の神戸—
日々の記録から」というテーマで、兵庫県下の空襲と、上田浅一氏の日記を中心に、古家實三市の日記、
資料集1疎開児童と家族の1945年高橋秀吉氏「姫路の罹災—その前後の
日記」「女学生の生活日誌 谷口弥生」兵庫師範学校男子部予科昭和20
年日記」などをまとめる形で出版されました。



兵庫図書館神戸空襲戦災記念資料室リニューアルに向けて

数年前から戦災記念資料室の資料の劣化を食い止めたいことや、見学
に来られる方々にもう少しわかりやすい展示をしたいと、神戸市行財政局
と話し合ってきましたが、ようやく戦災地図やパネルの整備など進め
られることになりました。昨年夏には、資料の再度の点検登録の作業が
神戸市の学芸員の皆様のおかげで進められ、その際にも、担当者、行財政局
担当課長、神戸大学 長さん、佐々木さん、小城で話し合うことができ
ました。

第52回空襲・戦災を記録する会全国連絡会議 東京大会 東京女子大学現地開催とオンライン開催

2022年8月27日28日今回は東京女子大学とオンラインの併用で開催されました。

8月26日には米軍資料研究会もオンラインで開催されました。

1日目は、空襲を記録・継承する取り組みについて、シンポジウム討論がありました。

2日目は各地からの取組みの報告がありました。仙台空襲の投下地点の表示や、東京中島航空機爆撃



に関しての保存運動など、継承の取り組みが報告されました。神戸からも、兵庫図書館リニューアルに向けて、神戸市との話し合いを重ねていること、学校やコープこうべ平和の部との協力などで、若い世代につながる努力をしていること、中田政子さんをしのぶ会の取り組みを報告しました。

オンラインでの開催ということもあり、事務局の努力で今まで参加しにくかった地域からも報告があり、全国で様々な空襲・戦災についての取組みがあること、また行政と一体となって取り組まれていることなども報告がありました。資料整理やアーカイブ化など新たな流れも伝えられました。

2023年第53回大会は、秋田県で8月26日27日に開催予定であることが報告されました。

また10月21日にオンラインで総会が開かれ、名称「空襲・戦災を記録する会」と改め、会則が定められました。加入は個人会員として、年間2000円の会費納入で登録できることになりました。会は、空襲・戦災について記録し、研究し、情報を交換し合い交流することを目的とします。全国大会、総会の開催、研究会学習会の開催（22年度は毎月1回のペースでオンライン学習会、米陸軍航空史を読む会が開催された）会報「空襲通信」発行が掲げられています。

神戸空襲を記録する会は、賛助会員として加入すること、また別に、代表、事務局長、世話人の中で、会員として登録することを確認しました。希望される方は、ホームページ上で手続きをしていただくか、記録する会にご連絡いただければと考えています。

活動報告（2022年3月～2023年3月）

2022年

3月17日（木）第51回神戸空襲犠牲者合同慰霊祭 参加者40人

3月28日（月）世話人会 オンライン併用

4月9日（土）敵性外国人抑留所について学習会 オンライン

5月23日（月）世話人会 オンライン併用

6月5日（日）第6回刻銘追加式 大倉山公園 参加者50人

6月26日（日）中田政子さんをしのぶ会 薬仙寺 参加者60人

6月28日（火）明石神戸大学附属小学校 空襲体験を話す会 馬場 米倉 市川 小城

7月23日（土）コープこうべ平和のつどい 東灘

8月1日（月）神戸空襲を記録する会世話人会 オンライン併用

8月3日（水）兵庫図書館戦災記念資料室 資料整理見学と神戸市行財政局との打ち合わせ
杉森、村上、長、佐々木、小城

8月5日(金) 神戸市戦災展(大倉山図書館)開始 戦争・平和について図書展示(兵庫図書館)19日迄
8月26日(金) 米軍資料研究会 オンライン開催
8月27日(土) 第52回空襲・戦災を記録する会全国連絡会議東京女子大・オンライン開催(～28日)
10月4日(火) 稗田小学校 神戸空襲・戦争体験を話す会 山村 馬場 小城
10月22日(土) 神戸の戦争孤児の記録を残す会閉会
10月23日(日) 火垂るの墓を歩く会再開 御影コース
10月30日(日) こうべ電鉄敷設工事犠牲朝鮮人労働者追悼集会
11月6日(日) 兵庫県生活協同組合連合会 戦跡ウォーク 大倉山公園から生田神社まで
11月10日(木) 明親小学校 神戸空襲・戦争体験を話す会 馬場敦子 山村 小城
11月15日(火) 池田小学校 神戸空襲・戦争体験を話す会 山村 米倉 小城
11月21日(月) 神戸空襲を記録する会 世話人会 オンライン併用
12月1日(木) だいち小学校 神戸空襲・戦争体験を話す会 山村 米倉 小城
12月9日(金) 六甲アイランド小学校 神戸空襲・戦争体験を話す会 山村 徳永 小城
12月13日(火) 道場小学校神 神戸空襲・戦争体験を話す会 山村 米倉 小城
12月20日(火) 甲緑小学校 神戸空襲・戦争体験を話す会 山村 米倉 小城

2023年

1月23日(月) 神戸市公文書館計画について説明会 神戸市行財政局 中田 小城
1月24日(火) 神陵台小学校 神戸空襲・戦争体験を話す 山村 小城

NHK取材 18時半からニュースで放映

1月30日(月) 神戸市観光局中学高校の教育旅行プランについてプレスリリース 小城
2月5日(日) 高校生平和大使 神戸空襲についての学習会
2月14日(火) 弦甲小学校 神戸空襲・戦争体験を話す 馬場 山村 小城
2月19日(日) 神戸市教職員組合戦跡ウォーク 延期
2月20日(月) 神戸空襲を記録する会 世話人会 オンライン併用
2月26日(日) 西区埋蔵文化財センター 神戸空襲のお話 西阪順三 小城
3月1日(火) 長田区サルビアギャラリー 神戸空襲について展示
3月17日(金) 第52回神戸空襲犠牲者合同慰霊祭 薬仙寺

絵本「手をはなしたらあかんー神戸空襲とおとうさん」(聴覚障害者にとっての戦争)(神戸平和マップをつくる会発行)制作協力金1200円送料200円です。

連絡先 神戸空襲を記録する会 TEL078-891-3018 Fax078-891-3019

おかげさまで今年も10校の小学校で、また、コープこうべやコープ自然派など 生協運動の平和活動に取り組む皆様のご協力もあり、兵庫県生活協同組合連合会の取り組みとして、大学生の協力を得てのピースガイドにも取り組み、子どもたちに、戦争体験や命の大切さを伝えることができました。高校生平和大使支援の取り組みも3年になりましたが、神戸空襲を記録する会も、身近な地域の戦争を知って、と学習会や戦跡ウォークと一緒にやってきました。平和大使サポーターの方が、神戸空襲について書いた感想文が神戸新聞社新聞感想文コンクールで兵庫県知事賞受賞という嬉しいニュースもありました。また、一昨年から西区埋蔵文化財センターでの神戸空襲について語る会が開催され、今回も西阪順三さんにお話をさせていただくことになりました。少しでも争うことの無意味さを伝え続けていきたいです。

2022(令和4)年度 見込収支決算報告書

2022(令和4年)年4月1日 ～ 2023(令和5)年3月31日

一般会計

(収入)

協賛金	380,000	寄付・カンパ
利息	5	普通預金
前年度繰越金	2,929,939	
合計	3,309,444	

(支出)

交通・通信費	204,800	会報等発送
交通費	13,020	学校訪問交通費
催事運営費	195,850	催事運営費(お寺謝礼、行事費)
全国大会参加・関連諸費	0	オンラインで開催
事務費	45,000	事務所費・備品・印刷費
諸費	18,000	ボランティア保険 資料購入他
次年度繰越金	2,832,774	
合計	3,309,444	

「碑」建設・管理基金

「碑」建設・管理基金 令和4年度見込収支決算報告書

(収入)

寄付金	200,000
前年度繰越金	3,367,525
合計	3,567,525

(支出)

刻銘追加式(6月5日実施)	183,149
次年度繰越金	3,384,376
合計	3,567,525

協力金のお願い(お振り込みは下記へ)

郵便振替口座番号: 00920-3-154884

加入者名: 神戸空襲を記録する会

通信欄に **協力金** または **碑の維持・管理協力費** のどちらかわかるように
ご記入ください。